

進路部だより

【2016-第1号】

2016. 4. 15.

新入生諸君！ ようこそ岩出山高校へ！

はじまったばかりの高校生活、いかがですか？

2・3年生諸君、新しいクラスはいかがですか？

いよいよ4月になり、新年度がスタートとなりました。

新2年生のみなさんは、これから部活・委員会などでもいよいよ中核を担う立場になっていきます。1年の時に足りなかった部分、頑張れなかった部分を、今年こそ挑戦してみてください。また、来年にはみなさんも3年生になります。ぜひ、そこも意識して、先輩たちの後ろ姿をよく見て下さい。

新3年生のみなさんは、いよいよ卒業後の自分の将来を切り拓く大事な人生の岐路に立つことになります。就職するにしろ、進学するにしろ、もう他人事ではありません。自分の進路は、他人から与えられるものではなく、自分の意志で選び、自分の力で切り拓くものです。

さて、就職するにせよ、進学するにせよ、どの企業もどの上級学校もその就職・入学の最低条件が「高等学校を卒業した者」、あるいは、「高等学校を来年3月に卒業が見込まれる者」となっています。ということで、今年度第1号の「進路部だより」では、そもそも「学校って何であるの？」「勉強ってどうしてしなくちゃいけないの？」という根本的なところを考えてみたいと思います。

◆学校って、なんであるの？

みなさんは、学校が楽しいですか？

新入生のみなさんは、いかがですか？まだまだ、知らないクラスメイトが多くて、隣の人ともまだ会話したことないって人もいるかもしれません。中学とは違って、知らない人が多くて、知らず知らずに気疲れしてて、家に帰ったらぐったり。。なんて人もいるかもしれませんねえ。

さて、「学校って、何のためにあるのか」、考えたことありますか？

一般的には、「学校は勉強するところだ」と言われます。確かに授業も大事ですが、ここで言う「勉強」というのは、教室で座って先生に教えてもらう勉強のことだけではありません。LHRであったり、文化祭や体育祭などの学校行事であったり、部活であったり、休み時間であったり、学校生活そのものが人間関係を学ぶ場になっているのです。

学校生活は決して自由なものではありません。みなさんは、基本的には自分の意志で岩出山高校に応募し、入学してきました。また、自分の意志で選択科目を選べます。

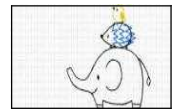
しかし、だれもあなたの隣の人を選ぶ自由はありません。

だれも担任の先生を選べません。だれも教科担当の先生を選べません。だれもクラスメイトを選べません。だれも隣の人を選べないんです。

でも、そこに学校の大きな役割があります。



学校を卒業して就職すれば、みなさんは、ある会社にたった一人で入社し、知らない人たちと仲良くし、新しい仲間を作り、働かなければなりません。仲良くできなければ働くことが辛くなります。働けなくなると、給料がもらえず、生活が苦しくなります。



どんな環境であれ、どんな職場であれ、知らない人と仲良くし、いっしょに協力して働くことができなければ、人は生活できないんです。



そして、「社会の中で生きる力」をつけるのが、学校の大きな役割です。

だからこそ、その訓練として、担任も教科の先生もクラスメイトも選べないのです。

1年経つとクラス替えがなされ、また新しい出会いが生まれます。いろんな考え方の人や、いろんな性格の人が1つの教室でクラスメイトとして1年間生活していくことになります。どんな人とも仲良く付き合うことができれば、それに越したことはありませんが、とても難しいことです。ただ、少なくとも、お互いが快適に過ごせる距離感を学んでください。自分の小さな物差しだけで人を評価せず、お互いを尊重し合い、認め合うことを学んでください。

これができないと、おそらく卒業後、どの会社に就職してもうまくやっていけず、職を転々としていくことになるでしょう。

春は出会いの季節です。小さな世界に閉じこもり、いつまでも小学校や中学校の友人とだけべったりしてないで、はじめて出会う隣の人に、まずは「おはよう」って挨拶してみてください。

もしかすると、その人を通して、新しい自分の可能性が見つかるかもしれませんよ。

◆なんで勉強しなくちゃいけないの？



「英語なんか、どうせ俺、外国なんか行かねえし。必要ねえし。」

「なに？あの因数分解とか三角関数とか。意味わかんねえし。あんなの覚えても何も意味ねえし。」

。。こんなぼやきをよく耳にします。

数学の因数分解にしろ、英語の英単語や英文法にしろ、確かに、そこで覚えた知識そのものは社会ではほとんど意味がないかもしれません。しかし、学校の勉強の一番大事なところは、そこで「覚えた知識」ではなくて、「その知識をどうやって覚えたのか」にあるのです。新しい物事をどうやって理解したのか、その過程が一番大事なのです。つまり、学習方法を勉強するために、勉強している、とも言えます。学校を卒業し、いつかはみんな就職しなければなりません。その職場で仕事の手順や作業内容など新しいことを覚えていかなければなりません。ここで大事になってくるのが、「学校ではどうやって新しい知識を獲得したのか」ということです。学校では、様々な科目の授業を通して、様々な種類の知識を覚えさせたり考えさせる訓練をします。そして、このように学校の授業を通して自分なりに獲得したその学習方法は、一生の宝となります。

自分ではなにも考えずに、友人のノートを見たり、答えを写してばかりの人いませんか？

自分で考え、覚えようと努力しなければ、「一生の宝」は手に入りません。今はよくても、社会に出てから苦労するのは、あなたです。

第1回考査が6月の中旬にあります。そこに向けて、もう一度勉強の大切さを考え直してみましょう。

